

「地域学校協働活動」の効果例

【子供たちにおける効果】

- ◎「〇〇ができるようになって嬉しいです。」
- ◎「自分も地域の一人として、少しでも地域の力になれるようになりたいです。」
- ◎「地域の方と気軽に挨拶ができるようになりました。」
- ◎「中学生になったら、小学生への読み聞かせをしたい。」

【学校における効果】

- ◎「子供たちの登下校時に声をかけてくれる方が増えて、見守りの効果が高まりました。」
- ◎「学校教育だけでは教えられないことも、地域の方から数多くのことを学ぶことができました。」
- ◎「教職員の働き方改革につながります。」

【地域における効果】

- ◎「そろばん講座のおかげで、学校では“そろばん先生”と呼ばれ嬉しいです。」
- ◎「地域の祭に中学生が企画・運営に入ってくれるので、これからも引き継がれていくことでしょう。」
- ◎「学校に行く機会が増えて、地域の仲間も増えました。」

地域学校協働活動の効果は？

子供たちにとっていいこと

- ①ふるさとへの理解と愛情、地域の担い手としての自覚が高まります。
- ②コミュニケーション能力が向上します。
- ③自己肯定感や他人を思いやる心など、豊かな心が育まれます。

学校にとっていいこと

- ①地域の中に、教育活動に対する理解者、支援者が増えます。
- ②地域資源を活かした効果的な授業づくりが進むとともに、「社会に開かれた教育課程」への具体化が図られます。
- ③継続的な学校支援体制が整います。

地域にとっていいこと

- ①地域住民等の生き甲斐や自己実現の機会がつけられます。
- ②地域づくりの担い手が育成されるとともに、地域の教育力が向上します。
- ③地域コミュニティ再生につながります。

事業だより「人を育て地域を創る」発行計画

発行予定	内 容
4月号（4月中旬）	事業の概要 等
5月号（5月上旬）	事業の概要 等
6月号（6月上旬）	事業の概要 等
7月号（7月上旬）	放課後子ども教室の活動紹介
8月号（8月上旬）	玉名中校区（玉名町小、築山小、滑石小、玉名中）の活動紹介
9月号（9月上旬）	玉南中校区（八嘉小、伊倉小、玉南中）の活動紹介
10月号（10月上旬）	玉陵中校区（玉陵小、玉陵中）の活動紹介
11月号（11月上旬）	有明中校区（大浜小、豊水小、横島小、有明中）の活動紹介
12月号（12月上旬）	岱明中校区（大野小、睦合小、鍋小、高道小、岱明中）の活動紹介
1月号（1月上旬）	天水中校区（玉水小、小天小、天水中）の活動紹介
2月号（2月上旬）	年間の総括的内容
3月号（3月上旬）	年間の総括的内容

寄せられた情報をもとに「事業だより」を作ります。よろしくお願いします！！

- ① 各校区の活動の様子を事業だよりで紹介していきたいと思えます。活動の様子を写真に撮り、写真のタイトル（〇年生の～、◇◇の学習、☆☆の時間、△△活動等）や子供、地域ボランティア、地域学校協働活動推進員、担任や地域連携担当職員等のコメントを蓄積しておいてください。
- ② 上の「事業だより発行計画」をご覧ください。発行予定の前月に本部事務局からデータ提出のお願いを発信しますので、それに依って提出をお願いします。
- ③ データの提出先は、community@city.tamana.lg.jp です。
- ④ 皆様から寄せられた情報等をもとに事業だよりを作っていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ⑤ 変更の希望やご意見、お尋ね等がありましたらコミュニティ推進課 ☎75-1312 までお寄せください。

＝編集後記＝

ある校長先生から聞いた話です。「地域学校協働活動をやっていると、地域の方が涙を流しながら子供たちに『ありがとう』とおっしゃいました。するとそれを受けた子供たちが『ぼくたちがお世話になっているのに、なぜ地域の方がお礼を言われるのだろう…？』と考えていました…」。

子供たちに今はその答えは見つからないかもしれませんが、成長しながら地域の方の想いを推し量ることができるようになっていくことでしょう。そして社会の担い手となっていく。そのようなことが営々として営まれていく中で『文化』が生まれていくのだろうと思われま。